謹賀新年 2016 1.1 発行

公益社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会



明けましておめでとうございます

あはき等法推進協議会が要望した無免許無資格問題に対してカード型の携帯用本 人確認証は、名称を「厚生労働大臣免許保有証」と決定の上で、昨年9月15日より 申請受付が開始されました。全会員が申請することを理想としましたが、初年度と しては最低の目標である50%を充分に越えることが出来ました。各都道府県師会及 び会員には大変お手数をお掛けしましたが、漸く無免許対策の緒についたと感じて おります。会員外の関心も大変高く、今後は会員外の申請が増えると想定できます。 本会会員も引き続きご理解の上、申請にご協力をお願いいたします。



杉田久雄

療養費については昨年末に柔道整復師による保険金詐欺行為によりマスコミ批判を浴びました。料金改 定の時期と重なるこの機会を捉えて厳しく対処するきっかけにされず、我々が望む「一部負担金でかかれ る制度」への影響を避けなければなりませんが、大変難しい状況に向かいかねないと思われます。本来は この制度とは全く違う次元の事案であり、誤解を生まないように丁寧な説明をしてまいります。

「あはき師」の資質向上には養成学校における単位数と時間数を見直す等の他、教育・臨床・国家試験の あり方、生涯研修と多岐に亘り改革の必要性があります。特に「あはき法」制定から来年は70年に成りま す。その間、社会の変革の速度に合わせられず取り残されたと言っても過言でない状況です。関係団体及、 び関係者の意見の一致が不可欠です。あはき等法推進協議会では「あはき等法| に関する意見交換が既に 始まりました。

世の移ろいには逆らえないとばかり言っていられません。「あはき師」、「あはき業」、「あはき教育」、「あ はきの生涯研修」等々に、真摯に向かい合わねばならない時期を迎えたと共通認識を持って取り組んでい きましょう。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

副会長・財務局長 堀 昌弘

昨年もノーベル賞受賞者があり、また 産業用ロケットや国産初ののジェット旅 客機の開発製造等々、改めて日本人のすばらしさに勇気 を感じます。

経済情勢も政府の政策に基づき、好景気とはいかなく とも徐々に景気回復を感じられるこの頃です。今年も景 気の持ち直しは続くと予想されています。 政府の新3本 の矢で今以上に活力のある日本に期待したいものです。

さて、厚生労働大臣免許保有証の申請も5.500名 以上の応募があり、無免許対策に対する会員の皆様の心 意気が感じられます。無資格者を排除し、国民を健康被 害から守り、良質な施術を提供しましょう。また事業計 画としては、今年は当会の法人化35周年にあたります。 さらに第15回東洋療法推進大会を東京都心にて開催を 予定しております。会員の皆様及び都道府県師会各位に は、これまで以上の参加とご協力をよろしくお願い申し 上げます。年頭にあたり皆様方のご多幸とご健勝をお祈 り申し上げます。



副会長・総務局長 伊藤 久夫

昨年より総務局長を拝命し「組織運営 の改新」をテーマに業務を遂行しており

ます。

全鍼師会の公益目的事業は、

- 1. 鍼灸マッサージに関する学術及び技術の向上、良 質かつ適正な施術の提供についての研究、研修等
- 2. 鍼灸マッサージに関する普及啓発活動等
- 3. 視覚障害者に対する鍼灸マッサージについての情 報伝達、職業訓練等の支援

です。各部局並びに委員会の事業との連携協調・協 力が必要で有り、その体制整備を確立することが、総 務局の役割と理解しております。

また、迅速かつ円滑な事務運営をはかるために都道 府県師会並びに各部局間の下支えができる事務処理体 制を整備することで、国民はもとより会員サービスの 向上に寄与して参りますので、会員の皆様方には、本 年もご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申 し上げます。

副会長・事業局長 中野 義雄

皆様にはつつがなく新しい年をお迎え のこととお慶び申し上げます。

昨年は「第14回東洋療法推進大会in愛知」の開催 に際しまして、多数の皆様のご協力とご参加をいただ き、大盛会となりましたことに心から感謝と御礼を申 し上げます。

さて、本年は9月22日(木・祝)~23日(金)の両日、 東京・品川プリンスホテルにて、「第15回東洋療法推 進大会in東京 記念大会(仮称) | を開催させていただ きます。今大会は、全鍼師会の法人35周年、並びに協 同組合設立20周年を併せ、式典と祝賀を含めた記念大 会となる予定です。東京都師会をはじめ関東地区師会 の絶大なるご協力とご尽力を賜りたいと存じます。

どうか全国全ての師会から多数のご参加をいただけ ますよう、心からお願い申し上げます。

本年も皆様にとって佳き年となりますよう、祈念申 し上げます。



副会長・視覚障害局長 梅宫光男

皆様には穏やかな新年をお迎えになられ たことと、心よりお慶びを申し上げます。

2016年の干支は丙申(ひのえさる)。これまでの頑張 りが形になっていく、そんな素晴らしい年になりそう です。全鍼師会が骨を折ってきた無免許対策、今年「免 許保有証」の発行という形で実現します。

ところが、視覚障害者の前途には不安を禁じ得ない ものがあります。日本の盲人は少数特定の者は別とし て、100%に近い人が鍼灸マッサージを、特にあんま・ マッサージ指圧等を業とすることによって、その生活 を支え、晴眼者と肩を並べ、あるいはリーダーとして 生きてきました。

その鍼灸マッサージが晴眼者の激しい進出や無資格 療術業者に取って変わられようとしています。将来、 視覚障害者が鍼灸マッサージの世界から姿を消すよう なことにならないよう、今こそ視覚障害者の皆さんの 奮起に期待して、新年に寄せる言葉といたします。

和章 副会長・保険局長 往 田

今期、若輩でありながら副会長という大役を務めさせていただくこととなりました。

社会保障費の抑制が叫ばれている昨今ではありますが、未だ大多数の国民の可処分所得も減り続け ています。そういった情勢の中「保険が使えるなら保険で施術を受けたい」という潜在的ニーズはよ り一層増大すると予想されます。

今後の療養費に不安を感じる声も聞こえますが、「あはき師でなければ行うことができない参入障壁 の高さ」「患者の経済的負担の軽さ」は他に代えることのできない大きなメリットである事は疑う余地がありません。 今後、あはき師は様々な業務の範囲を大きく拡大していく努力を続けていかなければなりませんが、それらの土 台であるのが療養費であり続けると考えます。

そのために不正請求を根絶し、真に必要な国民が過不足なく安心してあはき療養費を使えるよう抜本的な制度改 正に向け、今年も一意奮闘の決意で臨みたいと存じます。



業務執行理事·学術局長 小川 真悟

昨年の一年間は、厚生労働省老健局と の協議にて、介護保険制度における機能

訓練指導員に鍼灸師の位置づけや、地域包括ケアシス テムにおける、鍼灸マッサージ師の活用についてエネ ルギーを注いできました。平成30年3月までに、全国 のすべての市町村で介護予防・日常生活支援事業を実 施しなければなりません。今後は、自らの知恵・アイディ アで地域の社会資源を活用して仕組みをつくる必要が あります。鍼灸マッサージ師は地域に密着した医療職 として、訪問での介護予防指導や、通所型では施術所 での介護予防事業等、様々な支援体制がとれます。

全鍼師会・各県師会・地元師会の密な連携・情報交 換を行い、業権の拡大に繋がりますよう、より一層の ご支援・ご協力をお願いいたします。



業務執行理事·法制局長 牧野 雅興

無資格マッサージによる健康被害! 被害が発生している現実に鑑み、消費

者が施術者の免許を確認でき、安全な医療の提供を目指 す「厚生労働大臣免許保有証」。この発行に、厚生労働省、 東洋療法研修試験財団、業界7団体が一体となって取組 みました。第一弾の免許保有証は、3月末には届く予定 です。必ず消費者を守るニュースとなるでしょう。

無資格マッサージとの差別化のため、引き続き今年 も、各都道府県師会には資格者の業会加入と免許保有 証の意義・説明にご尽力をお願い申し上げます。

業務執行理事·広報局長

廣野 敏明

今年も広報担当として、月刊東洋療 法とホームページを通じ、当会の活動

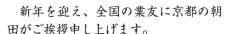
内容や行事予定、各事業の目指すところ、健康に役 立つ情報等の発信に努めて参ります。

また、社会や行政に対して業界の置かれている立 場や、業団としての意見等も積極的に掲載すること によって、会員はもとより、関係各位、一般の方々 にも広く鍼灸マッサージの良さや業界を理解してい ただき、大いに利用していただくことで皆様に有益 な広報活動となることを目指していきたいと思いま

本年もよろしくお願いいたします。



聖二 朝田



社会の発展に貢献出来る能力を備え、行動力ある 組織、多様な価値観を持った会員達が互いに尊重し 合いながら共生していける、豊かで成熟した師会を 目指したい。

本年もご指導をよろしくお願いいたします。

理事

荒深 公泰

昨年は東洋療法推進大会in愛知に沢 山の方々に来ていただき、誠に有難う

御座いました。スパ事業委員から普及・国際委員に 変更となり、東洋療法推進大会の運営の大変さを勉 強させていただきました。

また、フランスのパリとポルトガルのリスボンで 耳介治療とてい鍼のセミナーをさせていただいた際 に現地のドクターや鍼灸師、指圧師の方々と意見交 換ができ、鍼灸マッサージ師の世界的な事情を学ぶ よいきっかけになりました。その経験を活かし、よ り一層業界業団の為に頑張りたいと思っております ので、よろしくお願いいたします。

理事

石川 英樹

昨年から無免許対策委員に任命され、 伊藤先生、牧野先生、山田先生の下で

色々と勉強させていただき、また毎月厚労省担当者 との定期協議にも参加させていただくようになりま した。そこで本当に沢山の気付きがありましたので、 大変恐縮ですがこの場をお借りして皆様にお伝えさ せていただきます。

- 1. 無資格問題の本質は有資格問題であると理解 すること。
- 2. 大きな流れを変える力は私達にはないが、そ の流れに逆らわなければ支流を作ることは可 能であること。
- 3. その支流を本流にするには全ての鍼灸マッサー ジ師の考えを統一すること。

「こら石川、お前は新年早々何を無理なこと言って いるんだ!」とお叱りの言葉を頂戴しそうですが、 思ったことを素直に書かせていただきました。

理事

石橋 剛

昨年の選挙にて理事に当選させてい ただき、普及・国際委員として最大の

事業になる東洋療法推進大会in愛知にては、各種運 営方法などの変更や準備期間の短さにも関わらず、 理事・会員の皆様のご理解とご協力により盛会にて 終了したことに心より感謝しております。今年の記 念大会においては、この経験と反省点を充分に生か した運営をと考えています。また今年は準備不足の 為うまく機能できなかった国際事業につきましても、 関係各位と調整の上様々な事業や情報を会員の皆様 に提案・提供していきたいと考えております。

理事

今村 茂

昨年同様、保険推進の仕事と、会員 減少に有効な方策を考えてみたいと思

います。まずは、都道府県師会の会員が郡市区等師会、 全鍼師会の3つの会へ同時加入することが第一歩で もあるように思います。3つの会へ同時加入してい ただくため効果的な意見を皆で機会あるごとに出し 合って、業界の一致団結を図りたいと思っています。 これ以上、会員減少が続くようですと小さな政府に して、事業も最低限度に減らさざるを得ないように 感じています。

理事

宇須 章生

昨年は、厚生労働省との保険制度(一 部負担金でかかれる制度)を確立する為

の協議が大きく前進しました。これは保険局の努力 の賜物と思っております。鍼灸マッサージ師の将来 の為には無免許者の撲滅を柱とした保険制度の確立 が第一です。次に介護保険制度への参入、スポーツ、 視覚障害、学術も大切だと思います。公益社団と政 治連盟が表裏一体で活動を続けたことで厚生労働省 との交渉が漸く実を結ぼうとしています。

私も誠心誠意頑張りますので皆様のご協力を宜し くお願い申し上げます。



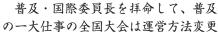
尾野 彰

学術委員としてマッサージ等将来研 究会「生涯・教育部会」に参加し、関

係7団体で行っている認定訪問マッサージ師講習会を 4年にわたり担当して参りましたが、業界で広く行わ れている在宅医療マッサージで必要となる評価・手 技を伝え、鍼灸マッサージ師が 地域での優良な社会 資源となるため、マッサージ師と理学療法士の両方 の立場からマッサージ師の評価の技術水準を高め、 在宅医療マッサージが社会的にさらに認められるよ う、力を尽くして参りたいと思います。

理事

古賀慶之助



など改革ができたかと思います。今年は東京で記念 大会ですので、経験をもとに実り多い大会にしたい と思っています。また新設された国際の部分では、 上手くリンクができていなかったのですが、ちょう ど良いタイミングで今秋は日本で11年ぶりにWFAS (世界鍼灸学会連合会)も開催されるので国際の部分 を推進したい。海外の鍼灸事情を収集して全国の業 友の皆様にご紹介できればと思っています。

理事

竹辺 博敏

地域社会に貢献する三療の立場を確 立し親しみと信頼される業界として発

展することを目指していきたいと思っています。

今年もよろしくご指導、ご支援のほどお願い申し

理事

仲嶋 隆史

平素からスポーツ事業委員会へのご 理解ご協力に感謝申し上げます。

本委員会の当面の目標は「東京オリンピック・ パラリンピック2020」へのトレーナーとしての参 入です。オリンピック・パラリンピックをきっかけ にトレーナーとしての資質を上げるべく、今年度か ら毎年行われています「スポーツ鍼灸マッサージ指 導者育成講習会 の認定条件を上げ、積極的にスポー ツ現場で活動ができるトレーナーを育成していきた いと思います。

本年も皆様の温かいご支援ご協力を賜りますよう、 よろしくお願い申し上げます。



長嶺 芳文

平素から地域健康つくり委員会への ご理解ご協力に感謝申し上げます。

本委員会も今年で10年目を迎えることになります。 業界発展のために、介護分野にも鍼灸マッサージ師 の活躍の場をと懇願しつつ、介護予防事業への参入 をめざし動き続けております。その一つとして、鍼 灸師が機能訓練指導員となるため、厚生労働省との 定期協議も行っています。いずれ業友の皆様に良い 報告が出来るように微力ながら取り組んでおります。

本年も皆様の温かいご支援ご協力を賜りますよう、 よろしくお願い申し上げます。

理事

森下 輝弘

本年も、国民の保健・医療・福祉の 向上を図るべく、保険推進委員といた

しましては、「一部負担金でかかれる制度 | の実現、「定 期的・計画的に行う訪問施術制度」の構築を継続し、 AcuPOPJ(国民のための鍼灸医療推進機構)運営作 業委員会・普及啓発作業部会の一員として、関係機 関との協議、他団体との協力体制に邁進し、情報の 見える化・見せる化を行ってまいります。

ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申 し上げます。

理事



山田 敏雄

昨年は、厚生労働大臣免許保有証発 行で全国の会員・師会長・並びに役員

その結果、各師会におかれましては、役員のお力 添えいただいたおかげで、会員の100%が保有証発 行申請をされた師会もあり、50%にも満たない県も ありました。それでも一歩前進です。今年も無免許 対策委員として、頑張ります。

の皆様には、大変ご苦労をおかけいたしました。

理事



山本 登

日東医学会を含む業界7団体で構 成するマッサージ等将来研究会普及

啓発部会では、約5年前(2011年1月)から普及啓 発を目的にホームページを運営し、安全・安心・効 果的なあん摩マッサージ指圧ネットを公開している 「AMSnet 通称アムスネット」。今年も新鮮な情報 を更新して行きますので、皆様から沢山の話題をお 寄せください。アムスネットは、あん摩マッサージ 指圧についての正確な情報サイトです。訪問者数、 アクセス数の増加にもご協力ください。

「AMSnet」 URL http://www.amsnet.me

「厚生労働大臣免許保有証」の申請経過報

「厚生労働大臣免許保有証」の申請に関し、当初は昨年6月1日より受付を開始することとなっておりましたが、 厚生労働省、内閣府及び東洋療法研修試験財団との最終調整に時間を要し、9月15日からの申請受付開始となり、 各都道府県師会には、種々ご迷惑をお掛けしましたこと、先ず持ってお詫び申し上げます。

しかしながら、各都道府県師会のご理解ご協力により、初年度の目標(5,000名)を達成することができましたこ と、誠に有難うございました。(最終申請数は次号にてご報告いたします)

申請された先生方には、3月以降、順次お手元に「保有証」が届けられます。

平成28年度からは、会員はもとより非会員の申請受付が増えると予測しております。

この事業は、全ての鍼灸マッサージ師が「厚生労働大臣免許保有証」を携帯することで、国民に正しく鍼灸マッ サージ(師)を理解していただく絶好の手段であり、毎年継続して参りますので、今度ともよろしくお願いいたします。

(公財)東洋療法研修試験財団から、11月10日、 平成26年度理事長表彰の表彰状が贈られましたの で、ご紹介いたします。 (学術局)

第1回目表彰者 (修了証5回取得) 45名

(敬称略)

広島県師会	相川貴裕、有藤孝治、 岡田佳広、竹邊博敏、 平野香里、山田健三
和歌山県師会	朝倉利久、井畑邦彦、 梅本治行、西田暁雄、 橋詰二郎、前田禮子
群馬県師会	岩崎敏明、高草木章、 高瀬彰文、長井謙一、 松浦邦彦
神奈川県師会	安藤誓子、西村博志、 廣瀬 徹、三鍋太郎

香川県師会	柴田芳博、宮武功哲、 山内浩二、山本英介
宮城県師会	佐藤 要、佐藤 一
静岡県師会	伊藤精二、渡邉 均
大阪府師会	西條 稔、森下輝弘
徳島県師会	河原由佳、濱﨑倫宏
茨城県師会	村上真理子
埼玉県師会	浅香定雄
新潟県師会	椛澤知弘
石川県師会	長 連隆

	(3/1/3/1/2
長野県師会	尾崎政昭
岐阜県師会	山田敏雄
兵庫県師会	木村慎一
奈良県師会	泉 伸二
鳥取県師会	尾崎公徳
島根県師会	若築博延
愛媛県師会	森 康臣
鹿児島県師会	辻喜美男

第2回目表彰者 (修了証10回取得) 10名

(敬称略)

岐阜県師会	伊藤 治、 竹下正二、	
石川県師会	木本茂伸、	中田和宏

. • -	
山形県師会	原田幸美
栃木県師会	山口一夫
京都府師会	西島登貴子

大阪府師会 岩倉 誠

第2回 学術セミナーのお知らせ 平成27年度

(公社)全日本鍼灸マッサージ師 会と(一社)神奈川県鍼灸マッサー ジ師会との共催セミナーを下記の 要項で開催いたします。申し込み 期間は平成28年1月20日~2 月5日となります。

東京オリンピックに向けて、外 国人選手の施術や対応方法を、学 ぶチャンスです。多くの方の参加 をお待ちしております。

*講演開始時間が変更になり、 30分繰り下げて13時30分か らになります。受付は13時か らとなりますのでご注意願いま す。また、第2部は神奈川主催 のセミナーとなりますが、参加 希望者は引き続き受講可能です。 **1. 日 時**:平成28年2月14日(日)13時30分~17時20分

2. 会 場:横浜市技能文化会館8階大研修室

神奈川県横浜市中区万代町2丁目4-7(JR根岸線 関内駅南口から徒歩5分)

3. 内容:第1部 13時30分~16時30分

演題:「東京オリンピックに向けて何をすべきか」~施術のグローとは~

講師:UCIワールドツアーサイクルロードレースチーム

専属トレーナー

日本自転車競技連盟強化支援スタッフ 中野 善文 先生

第2部 16時35分~17時20分

演題:スポーツ講習会

「外国人選手に対する施術のガイドライン」

講師:帝京大学非常勤講師 朝日山 一男 先生

4. 参加費:全鍼会員3,000円、非会員5,000円、学生1,000円、

一般参加は不可(当日受付で支払)

5. 申込方法:全鍼HPトップページ(ニュースゼンシン)から申込書をダウンロードし、

全鍼師会事務局までFAXしてください FAX:03-3359-2023



新オレンジプラン

厚生労働省は、認知症への基本的な介護対策を介護保険と は別に打ち出すために、2012年9月「認知症施策推進5か年 計画」(オレンジプラン)を策定したが、2015年1月、新たに「認 知症施策推進総合戦略」(新オレンジプラン)として作り直した。

新オレンジプランのオレンジプランとの違いは、「認知症 の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供」に関する 2017年までの目標の人数。

まず、「認知症サポーター」は、600万人を目標としていた が、800万人に引き上げる。早期診断できる医師を増やすた めの「かかりつけ医認知症対応力向上研修」の受講医師を5万 人から6万人に増やす。さらに、認知症に対する専門性をより

高め地域の医師に指示を出せる「認知症サポート医」の養成 研修受講医師を4000人から5000人に増やす。

そして、目玉とも言える「認知症初期集中支援チーム」を 2018年度には全国すべての市町村で整備するとした。「認知 症初期集中支援チーム」は、看護師やリハビリなどの専門職 が認知症の方の自宅を訪問して、家族に支援法をアドバイス し、かかりつけ医と連携して自立生活を手助けするものだ。認 知症の初期段階の人へ集中的に関わることで進行を遅らせる ことができる。既にモデル事業として始めているが、現在わ ずかな市町村でしか実施されていない。あと3年間で1741の 全区市町村に広げようという方針だ。

健康科学研究所所長・大阪市立大学医学部名誉教授 井上正康 〈現在、多くの府県師会より講演依頼を受けています。ぜひ貴師会でも!〉

井上正康先生は、癌や生活習慣病を「活性酸素」やエネルギー 代謝の観点と、地球や生命の歴史という大きな視野で研究され ている国際的研究者です。

専門書、一般書のご執筆をはじめ、マスメディアでも大活躍、 「予防医療」の研究と普及に取り組まれています。

乳牛は年間に約8400 Lもの牛乳を分泌し、その 中には約240 kgのたんぱく質、3000 kgの脂肪、 360 kgもの糖が含まれている。ウシの反芻胃は全 部で四室あるが、第1胃が120Lで全体の80%を占 めている。そこは酸素があっては生きていけない無 数の嫌気性細菌や原生動物が共生する巨大な発酵 工場である。これらの微生物は、飼料中のセルロー スなどを分解して酢酸、プロピオン酸、酪酸、ビタ ミンBなど、様々な代謝物を産生している。胃で繁 殖する共生細菌自体も栄養価の高い蛋白質や脂質 などでできており、第4胃で消化吸収されて牛の栄 養分となる。牧草だけを食べて700 kgもの巨体を 維持できるのは、栄養価の高い共生細菌のお陰な のである。牛の腸の長さは約60 mで体長の25倍も あり、胃で消化した牧草や共生細菌の成分を消化吸 収しながらあの巨体を創り上げているのである。

同じ草食動物でも反芻胃を持たない馬は牧草だけ では生きられず、穀物、芋類、マメなどを摂取する 必要がある。ウサギも馬と似た消化管構造を持つ 草食哺乳類であるが、発達した盲腸の中に多数の 嫌気性細菌が共生している。馬もウサギも栄養の宝 庫である共生細菌を糞として排泄しているが、ウサ ギは糞を食べる(糞食)ことにより栄養を補給するこ とができる。草食動物は分解し難いセルロースなど を消化吸収する為に長い腸を必要とし、体が大きく なければ生きていけない。しかし、ウサギは糞食の おかげで例外的に小さな体でも生きていけるのであ る。ヒトと馬の消化管は解剖学的に似ているが、糞 食をしない人間は更に多彩な野菜や肉類(蛋白質と 脂肪)などを雑食しなければ生きていけない。完全 な菜食ではベジタリアンも健康を維持することは出 来ない。卵や大豆タンパクに加え、微生物発酵によ り菌体からも様々な栄養素を補っているのである。

牛の胃内共生細菌により産生された有機酸の一 部は、二酸化炭素、水素、メタンなどに代謝され て口から排出される。この際に産生されるメタンは 炭酸ガスの20倍も温暖化効果が高いことから、世 界の畜産が地球温暖化の約15%の原因となってい る。この為に胃腸でのメタン産生を抑制すれば飼料 の有効利用と温暖化抑制に貢献できると考えられて いる。事実、胃内のメタン産生菌を抑制する薬を投 与すると共生細菌叢が変化してメタン産生が抑制さ

れ、栄養分となる短鎖脂肪酸の産生量が約25%増 加し、水素ガスの産生も増加する。

成人の消化管では食後に大量の水素が発生し、 血中に吸収されて呼気から排泄されている。ヒトの 腸内細菌が産生する水素の量は個人差が大きい(~ 12 L/日)。メタンの産生量もヒトにより大きく異な り、全く産生しない人もいる。オナラの成分は、水 素、二酸化炭素、メタン、および窒素(空気由来) などのガスであるが、悪臭は酪酸(腐敗バター臭)、 硫化水素(腐敗卵臭)、アンモニア、およびインドー ルやスカトール(トリプトファン分解産物)などであ る。ニンニクや肉を沢山食べるとオナラが臭くなる のは、悪臭の原料が小腸で吸収されずに大腸の腸 内細菌の餌になっているためである。

乳酸菌やビフィズス菌は食物繊維などを乳酸、プ ロピオン酸、蟻酸などの有機酸に代謝し、腸内の pHを低下させて腸の蠕動運動を亢進させる。一方、 炭酸ガスは酸性化を抑制して蠕動運動を抑制する。 下痢や便秘になるのも腸内細菌の気分次第なので ある。

乳児に母乳を与えると呼気中の水素濃度が急激 に上昇する。この際、乳児では細胞保護酵素であ るSODやヘムオキシゲナーゼが増加し、細胞自殺抑 制分子が誘導されてⅠ型アレルギー反応が抑制され る。母乳には抗炎症作用や抗アレルギー作用も備 わっているのである。水素は腸内の共生細菌が産生 する生理活性分子であり、わざわざ市販の水素水を 摂取しなくても腸内で大量に産生されているのであ る。抗生物質で腸内細菌を死滅させたマウスでは、 薬剤性肝炎が急激に増悪するが、投薬を辞めれば 炎症は改善される。腸内の共生細菌叢はホストの栄 養代謝や免疫機能をも制御しているのである。

現代はBMI 18以下を痩せ、18~25を正常、25 以上を肥満と定義しており、巷では病的なスリム神 話や過大宣伝が垂れ流されている。しかし、実際は BMI 25前後が一番健康なのである。腸内細菌が血 中の中性脂肪やHDLコレステロール、BMIにも関与 しており、その多様性が失われると、肥満、喘息、 糖尿病などの危険因子となる。太古から共生細菌と 一緒に旅を続けてきた人類は、彼らなくしては生き ていけないのである。不潔恐怖症が蔓延する現代社 会では、微生物との共生関係を再考する必要がある。



腸 菌



 \mathbf{x}_{1} and \mathbf{x}_{2} and \mathbf{x}_{3} and \mathbf{x}_{3}

認知症ケア・10の視点 認知症ミニ講座⑥

1. 見守りと観察ケア

認知症の人の日常生活を阻害しないで、行動を観察し、 現状把握を行うこと。

2. 健康管理のケア

認知症の人は身体の不調を十分に表現できず、健康に ついての認識も低くなります。

3. かかわりケア

名前を呼ぶ、開かれた質問をするなど、話を十分に聴 き、気持ちを支えることです。

4. 興味・関心を探るケア

今ある能力を把握し、何ができるのかを理解し、興味・ 関心を探ること。

5. 気分転換のケア

新しい情報提供や助言を行い、執着している感情を他 に向ける努力をすること。

6. チームケア

認知症ケアは1人ではできません。周囲の人との連携、 協調、分担が大切です。

7. 生活の基盤(住環境)

安心して暮らせる良い環境は生活者の自立を助け、治 療効果もあるといわれています。

8. 五感を刺激するケア

視覚、聴覚、味覚、臭覚、触覚など、あらゆる感覚を 刺激することを心がけます。

9. 家族へのケア

家族の疲労や心の葛藤などに配慮し、支えることは認 知症の人を支えることになります。

10. 本人の尊厳を守る(身体拘束・虐待・自己決定権)

認知症の人でも、そうでない人と同じように生活して いく権利があります。 (「認知症ねっと」より抜粋)

研修会・イベント開催予定 ■ Information インフォメーション —

各地での研修会・イベント情報をお知らせいたします。多くの方のご参加をお待ちしています。詳細は各師会へお問い合わせ下さい。

月日	師会	名	時間	場所	内容	一般参加	参加費	生涯研修 単位
1月10日	北海	道	10時~14時45分	函館市総合福祉センター	不妊治療への東洋医学的アプローチ	可	道鍼会員2000円 一般2000円 学生1500円 申込:0138-27-0222 臼井	5単位
	神奈	€/	13時~ 16時15分	ホテルKSP	認知症鍼灸治療の実際	可	会員1000円 準会員・学生500円 一般無料	4単位
	高	知	13時30分~ 16時45分	高知市 小高坂更生センター	小児の身体とアプローチ・ベビーマッサージ、保険 取り扱い研修	可	会員無料 会員外1000円 学生500円	4単位
1月17日	福	島	14時~ 16時15分	飯坂温泉 ホテル聚楽	触れて分かる解剖学	可	無料	3単位
15170	長	崎	10時~ 13時	長崎市中央消防署	普通救急救命講習	不可	会員2000円	4単位
	宮	城	14時~ 16時	多賀城市市民活動 サポートセンター	ベッドサイドの神経の診方	可	会員·学生1000円 一般2000円	2単位
	群	馬	10時30分~ 16時	群馬県社会福祉総合 センター	膝関節痛のマッサージと電気鍼治療	可	会員·一般3000円 学生無料	6単位
	埼	玉	14時30分~ 17時30分	さいたま市武蔵浦和 コミュニティセンター	臨床に役立つ膝痛に対する鍼灸マッサージ①②	可	会員事前2000円·当日4000円 一般事前4000円·当日8000円	4単位
1月24日	岡	山	10時~ 15時15分	岡山総合福祉会館	乳がんのオペ後ケア、アトピー性皮膚炎の最新治療	可	会員2000円 学生1000円 会員外4000円	6単位
	和歌	ιЩή	10時~12時15分	和歌山県鍼灸 マッサージ会館	スポーツマッサージ研修	不可	無料	3単位
	愛	媛	10時~15時	河原医療福祉専門学校	スポーツにおける日本鍼灸の可能性~欧州のスポーツ鍼灸との比較~、スポーツ選手を日本鍼灸でケアする~東洋医学の特性を生かした治療について~	可	会員1500円 一般3000円 学生1000円	5単位
	兵	庫	11時~15時	姫路市民会館	モリビデーションテクニック、鍼灸マッサージ師の ための在宅訓練法	可	無料	4単位
1月31日	鳥	取	10時~ 15時	倉吉市 伯者しあわせの郷	治療研究発表および臨床報告、学会・大会報告	可	会員・学生無料 会員外(有資格)1000円	5単位
	広	島	11時~16時	広島市社会福祉センター	AZP理論	可	3000円(昼食含)	5単位
	山	П	10時~ 15時15分	下関市長府東公民館	普通救急講習、救急法について討議	可	会員1500円 会員外2000円 学生1000円	6単位
	岩	手	10時~ 13時15分	盛岡市アイーナ	鍼灸マッサージを取り巻く現状と課題、障害者差別 禁止法と無免許問題について	不可	無料	3単位
	宮	城	13時30分~ 16時	仙台市荒町市民センター	業界の現状と展望について	可	会員1000円 学生500円 一般2000円	2単位
	茨	城	10時~ 16時	水戸市福祉ボラン ティア会館	整形外科疾患スポーツ障害・外傷について、鍼灸マッ サージ過誤	可	会員2000円 一般5000円 学生1000円 付添者500円	6単位
2月7日	新	潟	10時~ 12時	新潟市総合福祉会館	介護予防	可	会員無料 会員外1000円	4単位
	石	Ш	10時30分~ 12時30分	石川県立盲学校	筋骨格系の触診マニュアル実技、現代鍼灸臨床論 通読	可	無料	2単位
	兵	庫	13時20分~ 16時	あすてっぷ神戸	冷え症について	可	無料	3単位
	愛	媛	7時~ 16時	松山市市民会館 西駐車場	愛媛マラソンフィールドワーク	不可	無料	6単位

※研修単位は会員のみ

謹んで新春の お慶びを申し上げます



皆様のご健康と ご多幸をお祈りいたします



2016年 元旦

(公社)北海道鍼灸マッサージ師会

会長水上

〒064-0809 北海道札幌市中央区南9条西3-2-1 マジソンハイツ812 TEL 011-562-6628 / FAX 011-562-2149 hhkm@gaea.ocn.ne.jp

全鍼師会 視覚障害委員会委員 (一社)岩手県鍼灸マッサージ師会

会長佐々木 実

〒028-7401 岩手県八幡平市西根寺田13-108 TEL / FAX 0195-77-2057 ms2001@aioros.ocn.ne.jp

(一社)宮城県鍼灸マッサージ師会

(一社)青森県鍼灸マッサージ師会

会長 笹川 降人

〒031-0804 青森県八戸市青葉3-2-16

TEL 0178-22-0701 / FAX 0178-22-0712

hari-hari@mve.biglobe.ne.jp

会長山田

〒981-3135 宮城県仙台市泉区八乙女中央1-3-30 TEL / FAX 022-344-7747 m-sinkyuu-massage@silk.plala.or.jp

(一社)秋田県鍼灸マッサージ師会

〒014-0048 秋田県大仙市大曲上大町4-27 TEL 0187-62-1287 / FAX0187-62-5216 kzhktkhs@h9.dion.ne.jp

(一社)山形県鍼灸マッサージ師会

会長 自田

〒994-0013 山形県天童市老野森3-10-8 白田はり灸院 TEL / FAX 023-654-7007 s-hari@ic-net.or.jp

(公社)福島県鍼灸あん摩マッサージ指圧師会

会長 平栗

〒960-8033 福島県福島市万世町2-13 TEL / FAX 024-535-9093 fukushima.hkm@touhoku.me

全鍼師会 視覚障害委員会委員 (公社)茨城県鍼灸マッサージ師会

> 会長 仲澤 進

〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918 県総合福祉会館5階 TEL / FAX 029-244-4343 ibasikai@dream.ocn.ne.jp



(一社)栃木県鍼灸マッサージ師会

会長 増田 薫

〒321-1444 栃木県日光市清滝2-3-9 TEL 0288-53-3303 / FAX 0288-53-3306 yoosuke@maple.ocn.ne.jp (公社)群馬県鍼灸マッサージ師会

代表理事 大下 富士男

〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町13-12 群馬県社会福祉総合センター 4階 TEL 027-255-6803 / FAX 027-255-6804

全鍼師会 理事・学術委員会委員 (公社)埼玉県鍼灸マッサージ師会

代表理事 尾野 彰

〒360-0012 埼玉県熊谷市上之1777-4 TEL 048-525-3222 / FAX 048-525-3231 info@saitama-sams.or.jp (公社)千葉県鍼灸マッサージ師会

会長 **齊藤** 曠

〒260-0021 千葉県千葉市中央区新宿1-8-11 千葉新宿ビル3階 TEL 043-301-3489 / FAX 043-301-3499 todoroki7538@smile.ocn.ne.jp

(公社)東京都 はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師会

会長 皆川 浩一

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町37-4 TEL 03-3252-8811 / FAX 03-3252-8813 全鍼師会 スポーツ事業委員会委員 (一社)東京都東洋医学療法鍼灸マッサージ師会

会長 森井 貴司

〒150-0011 東京都渋谷区東3-26-3-1002 TEL / FAX 03-3409-9669

(一社)神奈川県鍼灸マッサージ師会

会長 伊勢山 竹雄

〒231-0065 神奈川県横浜市中区宮川町2-55 ルリエ横浜宮川町304 TEL 045-242-7790 / FAX 045-242-7791 全鍼師会 理事 (一社)新潟県鍼灸マッサージ師会

理事長 山本 登

〒950-0908 新潟県新潟市中央区幸西1-3-5 鍼灸マッサージ会館 TEL 025-244-6666 / FAX 025-250-5909 niigata-kenshikai@k5.dion.ne.jp

(一社)山梨県はり師きゅう師マッサージ師会

会長 坂本 司

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内3-32-15 東洋医学会館 TEL055-225-5089 / FAX055-288-1144 toyo@royal.ocn.ne.jp (公社)富山県鍼灸マッサージ師会

会長 中野 邦雄

〒930-0009 富山県富山市神通町1-2-6 鍼灸マッサージ師会館 TEL 076-441-8986 / FAX 076-441-7878 info@toyama8qm.or.jp

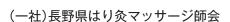
(公社)石川県鍼灸マッサージ師会

会長 常盤 和成

〒921-8105 石川県金沢市平和町1-3-1 石川県平和町庁舎B館3階 TEL / FAX 076-259-6628 info@ishikawa-shinkyu.or.jp 全鍼師会 法制局長・無免許対策委員会委員長 (一社)福井県鍼灸マッサージ師会

会長 牧野 雅興

〒910-0016 福井県福井市大宮3-18-3 TEL 0776-24-5955 / FAX 0776-24-5950



理事長 白井

〒390-0802 長野県松本市旭2-11-38 長野県はり灸マッサージ会館 TEL 0263-33-1660 / FAX 0263-33-7566 n-ahaki@nifty.com

(公社)静岡県鍼灸マッサージ師会

代表理事 驚滕

〒421-0523 静岡県牧之原市波津1667-1 TEL 0548-52-6626 / FAX 0548-52-1969 motojiro@po2.across.or.jp

(一社)三重県鍼灸マッサージ師会

代表理事 局谷

〒514-0004 三重県津市栄町2丁目325 三重県鍼灸会館内 TEL / FAX 059-246-7427 sanryu@opal.plala.or.jp

全鍼師会 理事 (公社)京都府鍼灸マッサージ師会

会長 朝田

〒602-8155 京都府京都市上京区千本通り 二条下る東入主税町1031-3 京都府鍼灸マッサージ師会会館 TEL 075-803-6078 / FAX 075-821-2390 k-kaikan@cronos.ocn.ne.ip

(公社)兵庫県鍼灸マッサージ師会

会長 松岡

〒673-0018 兵庫県明石市西明石北町3-8-15 TEL 078-926-0801 / FAX 078-926-0802 hksikai3@circus.ocn.ne.jp URL http://hyogo-chiryo.jp/index.html

(一社)和歌山県鍼灸マッサージ師会

会長 井畑

〒640-8341 和歌山県和歌山市黒田97-14 TEL 073-475-7771 / FAX 073-474-2241 info@washinshi.com

全鍼師会 理事・無免許対策委員会委員 (公社)岐阜県鍼灸マッサージ師会

会長 山田

〒500-8042 岐阜県岐阜市末広町78-5 鍼灸マッサージ会館 TEL 058-269-4045 / FAX 058-269-4046 gskm@bronze.ocn.ne.jp http://gifukensikai.hp4u.jp/

(一社)愛知県鍼灸マッサージ師会

会長山ノ下

〒454-0014 愛知県名古屋市中川区柳川町4-24 TEL 052-683-8921 / FAX 052-683-8924 aamm-info@fmly.japan-net.ne.jp URL http://www.japan-net.ne.jp/~aamm/

(一社)滋賀県鍼灸マッサージ師会

〒520-0814 滋賀県大津市本丸町6-28 鍼灸マッサージ会館 TEL 077-526-4199 / FAX 077-523-4132

全鍼師会 副会長・総務局長 (公社)大阪府鍼灸マッサージ師会

会長 伊藤

〒545-0011 大阪府大阪市阿倍野区昭和町2-10-5 TEL 06-6624-3331 / FAX 06-6624-5141 info@osmk.or.jp

(一社)奈良県鍼灸マッサージ師会

〒630-8344 奈良県奈良市東城戸町46 なら漢方ハイツ1階 TEL / FAX 0742-26-7829

(一社)全和歌山県鍼灸マッサージ師会

会長 余崎

〒640-8323 和歌山県和歌山市太田49-1 小川コーポ1階 TEL 073-488-4577 / FAX 073-488-4578 qqt48289k@jupiter.ocn.ne.jp http://www.btb.ne.jp/zenwaka/



(公社)鳥取県鍼灸マッサージ師会

代表理事 國岡 昭太郎

〒680-0031 鳥取県鳥取市本町3-201 鳥取産業会館・鳥取商工会議所ビル TEL / FAX 0857-22-7598 tosikima@orange.ocn.ne.jp (一社)島根県鍼灸マッサージ師会

代表理事 持田 栄一

〒699-1101 島根県雲南市加茂町大西264-1 TEL / FAX 0854-49-7082 ymgtmmy@gj8.so-net.ne.jp

全鍼師会 スポーツ事業委員会委員 (一社)岡山県鍼灸マッサージ師会

会長 松浦 浩市

〒702-8055 岡山県岡山市南区築港緑町1-16-8 TEL / FAX 086-265-7389 全鍼師会 理事 (一社)広島県鍼灸マッサージ師会

会長 竹辺 博敏

〒732-0009 広島県広島市東区戸坂千足1-1-21 TEL 082-220-3115 / FAX 082-502-5084

(公社)山口県鍼灸マッサージ師会

会長 林 和俊

〒742-0417 山口県岩国市周東町下久原439-5 TEL / FAX 0827-84-3509 k-hayashi0103@hb.tp1.jp 全鍼師会 副会長・保険促進委員会委員 (公社)徳島県鍼灸マッサージ師会

会長 中野 義雄

〒770-0831 徳島県徳島市寺島本町西1-60-5 TEL / FAX 088-625-2412 nakano@juno.ocn.ne.jp

(一社)香川県鍼灸マッサージ師会

会長 山本 英介

〒761-0701 香川県木田郡三木町池戸2851-5 柴田鍼灸治療院内 TEL / FAX 087-813-8789 (公社)愛媛県鍼灸マッサージ師会

会長 浦川 武之

〒791-8032 愛媛県松山市南斎院町951-11 TEL / FAX 089-974-1219 ehimekenshikai@e-ahaki.com

(一社)高知県鍼灸マッサージ師会

会長 林 道夫

〒781-5621 高知県香南市夜須町手結298-66 TEL 0887-54-0225 genkido_hayashi@yahoo.co.jp (公社)福岡県鍼灸マッサージ師会

会長 要 信義

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前4-5-12 TEL 092-461-2745 / FAX 092-461-2746 jimu@fukuokahariq-city.org

(一社)佐賀県鍼灸マッサージ師会

会長 江口 雅昭

〒840-0012 佐賀県佐賀市北川副町大字光法965-1 TEL 0952-26-3813 (事務局)〒840-0008 佐賀県佐賀市巨勢町牛島397-1 TEL / FAX 0952-22-9747 全鍼師会 理事 (一社)長崎県鍼灸マッサージ師会

代表理事 下釜 光弘

〒852-8021 長崎県長崎市城山町2-3 TEL / FAX 095-862-2263

(一社)熊本県鍼灸マッサージ師会

会長 髙橋 武良

〒860-0844 熊本県熊本市中央区水道町14-21 熊本県婦人会館内 TEL 096-356-7609 / FAX 096-356-0901 harikuma@izu.bbiq.jp

(一社)大分県鍼灸マッサージ師会

会長 梅木

〒870-0022 大分県大分市大手町2-3-34 サンハイツ大手町1階 TEL 097-536-2600 / FAX 097-536-2606 oharikyu@oct-net.ne.jp

(一社)宮崎県鍼灸マッサージ師会

会長 河野

〒880-0013 宮崎県宮崎市松橋1-7-7-203 TEL 0985-27-4681 / FAX 0985-22-7691 mamma@camel.plala.or.jp

(公社)鹿児島県鍼灸マッサージ師会

代表理事 右田

〒890-0015 鹿児島県鹿児島市草牟田町8-4 鹿児島県鍼灸マッサージ師会館 TEL / FAX 099-224-9445 migita@leo.bbiq.jp

(一社)沖縄県はり・きゅう・マッサージ師会

会長豊平

〒903-0124 沖縄県中頭郡西原町字呉屋114-2 TEL098-945-8941 / FAX 098-943-8838 info@okinawa-ahaki.or.jp

全鍼師会 監事

〒514-0004 三重県津市栄町4丁目155 TEL / FAX 059-227-5076

全鍼師会 監事

たなか 田中

〒410-0874 静岡県沼津市松長788-3 TEL / FAX 055-966-1818 tsi11hati@kna.biglobe.ne.jp

全鍼師会 相談役 (公社)茨城県鍼灸マッサージ師会常任顧問

〒316-0033 茨城県日立市中成沢町2-5-7 TEL / FAX 0294-37-3282

全鍼師会 相談役

〒922-0114 石川県加賀市山中温泉東町1丁目マ35 TEL 076-178-2325 / FAX 076-178-2324

全鍼師会 相談役

高田

〒920-0347 石川県金沢市松村町ヌ17-2 TEL / FAX 076-268-7171 s-takata@ivy.ocn.ne.jp

全鍼師会 相談役

川村

〒604-8863 京都府京都市中京区壬生中川町47 TEL / FAX 075-811-5600



あけましておめでとうございます

今年も変わらぬご愛顧の程お願い申し上げます 2016年 元旦

日本鍼灸マッサージ協同組合

専門学校

謹賀新年



学校法人 吳 竹 学 園

理事長 坂 本 歩

東京医療専門学校

〒160-0008 東京都新宿区三栄町3番地

TEL 03-3341-4043

吳竹鍼灸柔整専門学校

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-7-24 TEL 045-471-3731

呉竹医療専門学校

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-185-1

TEL 048-658-0001

http://kuretake.ac.jp

大学・専門学校

謹賀新年



学校法人 花田学園

理事長 櫻井 康司

東京有明医療大学

保健医療学部(鍼灸学科/柔道整復学科) 看護学部(看護学科)

大学院(博士課程)保健医療学研究科/ (修士課程)看護学研究科 〒135-0063 東京都江東区有明2-9-1 TEL 03-6703-7000 http://www.tau.ac.ip

日本鍼灸理療専門学校

本科(鍼灸あん摩マッサージ指圧科)

専科 (鍼灸科)

日本柔道整復専門学校

柔道整復科

〒150-0031

東京都渋谷区桜丘町20-1 TEL 03-3461-4787

http://www.hanada.ac.jp/

専門学校

謹賀新年



東洋鍼灸専門学校

理事長 毛塚 鉄雄校 長 竹内 廣尚

〒169-0073 東京都新宿区百人町1丁目4番4号 TEL. 03-3209-5436 FAX. 03-3209-5569 URL: http://www.toyoshinkyu.ac.jp 専門学校

謹賀新年

学校法人 鬼木医療学園

国際鍼灸専門学校

理事長・校長 鬼木 誠一郎

〒124-0012 東京都葛飾区立石6丁目36番7号

TEL:03-3693-1214 FAX:03-3694-6297

http://www.kokusaishinkyu.ac.jp/

専門学校

謹 賀 新 年

^{学校法人 彩煌学園} 湘南医療福祉専門学校

理事長 君嶋 博 明校 長 君嶋 眞理子

〒244-0805 横浜市戸塚区川上町 84-1 TEL:045-820-1329 FAX:045-820-1357 http://www.smw.ac.jp 専門学校

謹賀新年

学校法人 東海医療学園

東海医療学園専門学校

理事長‧校長杉山 誠一

〒413-0006 静岡県熱海市桃山町20-7 TEL 0557-82-0459 FAX 0557-82-2775 http://www.tokaicom.ac.jp

MS&AD 三井住友海上火災保険株式会社

新年おめでとうございます

110番補償制度(鍼灸師賠償責任保険) 団体所得補償保険・団体総合生活保険

担 当:広域法人部 営業第一課 **〒**101−8011 東京都千代田区神田駿河台3-11-1 TEL 03-3259-6692 FAX 03-3259-7218 http://www.ms-ins.com

謹賀新年

担当:メットライフ生命保険株式会社 EBダルか推進部

〒130-0013東京都墨田区錦糸1-2-1アルカセントラル12F TEL: 03-5637 -4042 FAX:03-5637-6930

山王商事株式会社

〒160-0011 東京都新宿区若葉1-7-103 TEL03-5366-1204 FAX03-5366-1205 保険代理店

謹 賀 新

110番補償制度・団体総合生活保険制度 取扱代理店 立ちどまらない保険。

MSK保険センター株式会社

担当 本店営業第2部 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-2 御茶ノ水杏雲ビル6F

TEL.03-3259-7901 FAX.03-3259-7917

健康にはり

セイリン株式会社

通話無料: 0120-100890 http://www.seirin.tv

東洋医学はり・もぐさ・物療機械の総合卸

謹賀新年

平成二十八年

株式会社 オフラー・

本社横浜・大阪・新潟・福島・仙台 オンラインショップ http://e-kenkou.jp 白衣・患者衣

賀 正

マーク入り白衣・患者衣・各種制服製造卸

株式会社 ユア・ユニフォーム

〒541-0051大阪市中央区債後町3-2-8

TEL06-6261-6636 FAX06-6261-6637

看板・ネオンサイン

謹賀新年

看板・広告・ディスプレイ・ネオンサイン・プラスチック電飾 シート切文字・グラフィック出力サイン・金属銘板

各種展示会・装飾テント ―――― 設計・施工



アドネット株式会社

代表取締役 大野 正人

〒641-0055 和歌山県和歌山市和歌川町5-3
Tel.073-448-3303 Fax.073-448-3301
E-mail adnet@leto.eonet.ne.jp

タオル・日本手拭

谨慎粉色

名入れタオル・日本手拭 各種贈答品・宣伝用粗品

石垣商事株式会社

〒640-8334 和歌山市茶屋町18番地TEL(073)436-1201 FAX(073)426-3166ホームページ http://www.isigaki.co.jpE-mail isigaki@isigaki.co.jp

うちわ・カレンダ-



患者さんとの素敵な コミュニケーションづくりに お役立て下さい

鍼灸カレンダーのご用命は…

<u>うちわ・</u>カレンダー企画・製造販売

株式会社ヤマタ"

梅干商品

迎春

産地直送 ハチミッ入り 紀州特産梅ぼし 16 世 14

株式会社 かわしま 代表取締役 川嶋 克彦

〒640-8043 和歌山市福町23-2 TEL 073-423-2318(代) FAX 073-433-2011 http://www.fukuhoubai.com 健康食品

謹賀新年

大高酵素株式会社

大阪支店

〒577-0012 大阪府東大阪市長田東4-2-26 ☎06-6747-2261 ☎06-6747-2301

http://www.ohtakakohso.co.jp

【伊達・仙台・東京・富山・名古屋・広島・福岡】

謹賀新年

概念性医道の日本社

http://www.idononippon.com

本社-

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-105 TEL 046-865-2161 FAX 046-865-2707

東京支社一

〒108-0075 東京都港区港南 2-4-3 三和港南ビル5 階 編集部 TEL 03-5461-3053 FAX 03-5461-3054 営業販売部 TEL 03-5461-3055 FAX 03-5461-7237 ディスプレイルーム品川 TEL 03-5461-3050 FAX 03-5461-3051

謹賀新年

本年も共同購買事業、共済事業を 宜しくお願いいたします

日本鍼灸マッサージ協同組合 理事長 堀 嘗弘

TEL: 03-3358-6363 FAX : 03 - 3359 - 2023E-mail: jamm@jamm.or.jp URL: http://www.jamm.or.jp

新規加入者

期間:平成27年12月1日~平成28年3月31日

≪ キャンペーン内容 ≫

- 新たにご加入された方に、全国デパート共通券・ 図書カードのいずれか 3,000 円分をプレゼント。
- さらに抽選で50人に1人、月額掛金相当額 (上限3万円)の全国デパート共通券が当たる!

国民年金基金は、

自分で納めた掛金を年金として受取る貯蓄型です。

年金は、65歳から受取れます。

※2口目以降には60歳から年金が受取れるものもあります.



国民年金にゆとりをプラス。自分で入る公的な個人年金。 まずはお気軽に資料請求を!

フリーダイヤル 0120-151289 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)

http://www.hari-kyuu.org/ (HPリンク先で 24 時間受付)

※ 資料請求をしていただくと、加入をご検討されている方の掛金・年金額等のプランを作成いたします。



学校法人吳竹学園

呉竹学園は、時代に適応した人材を育成し 社会に貢献する努力を続けます



Established 1926

設置学科

鍼灸マッサージ科 鍼灸科 柔道整復科 鍼灸マッサージ教員養成科

http://www.kuretake.ac.jp

〈東京医療専門学校〉

〈呉竹鍼灸柔整専門学校〉

〈呉竹医療専門学校〉

〒160-0008 東京都新宿区三栄町3番地 TEL 03-3341-4043 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-7-24 TEL 045-471-3731 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町 1-185-1 TEL 048-658-0001



平成七年

月三〇日

(広報局長: 廣野敏明)

=00

平成28年度 全鍼行事カレンダ・

日 程	行 事 名	場所
5月29・30日	定時総会等	東京(麹町)
9月22・23日	第15回 東洋療法推進大会in東京	東京(品川)
11月13日	都道府県師会会長会	東京(麹町)

※他に地域健康つくり指導者研修会、スポーツ鍼灸マッサージ指導者育成講習会、学術セミナー等の予定があります。

協-同-組-合-1

明けましておめでとうございます。本年も協同組合の各種事 業をどうぞよろしくお願いいたします。

さて新しい年の注目の新商品、それは「ネイルニッパー」で す。鍼灸マッサージ師は指先が命。

熟練の職人が1本1本丹念に加工した結果、その切れ味は天 下一品です。硬い爪、巻き爪、割れやすい爪なども、きれいに 気持ちよくお手入れできます。一度使ったら手放せません。そ

の証拠に、昨年の愛知大会での展示販売では、多くの会員さん の驚きの声とともに、完売しました。

協同組合では、今年も会員の皆様に必要な品々を揃えてご注 文をお待ちしています。

ご注文・お問合せは、

協同組合商品担当:電話03-3358-6363

メール jamm@jamm.or.jp まで。

集 後

よろしくお願いいたします。

新年おめでとうございます。今年のお正月は、いかがお過ごしでしたか?吉田松陰は、「正月 でも勉強しなさい」とおっしゃったそうですが、明治時代の童謡で瀧廉太郎作曲、東くめ作詞の 「お正月」では、「お正月には凧あげて独楽を回して遊びましょう」と歌っています。まだ日曜日 も一般的ではなかった時代、常日頃全く休まず励んでいるので、お正月くらいは休みましょう、 ということでしょうか。

さて、昨年の目標は「もっと文章がうまくなる」でしたが、毎月校正をさせていただき、普段の会話 でも言葉使いがとても気になるようになりました。これを表現するにはどんな言葉がふさわしいのか、など悩みつつも言葉 の持つ力の大きさにあらためて気づかされることも多く、本当に言葉は難しくもあり、素晴らしいものだなと思っています。 そこで今年の目標は「語彙が増える」にしたいと思います。「一所懸命生きていれば、不思議なことに疲れない」とおっしゃ るのは松岡修造さん。日めくりカレンダーの「まいにち修造」を眺め、怠け心を戒めたいと思います。本年もご指導のほど



発 行 所 〒160-0004 東京都新宿区四谷 3-12-17 全鍼師会会館内

> 公益社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会 TEL.03-3359-6049 FAX.03-3359-2023

全鍼 ホームペーシURL http://www.zensin.or.jp 協同 ホームペーシURL http://www.jamm.or.jp

師会 E-mail zensin@zensin.or.jp 組合 E-mail jamm@jamm.or.jp

名 鍼灸マッサージ情報誌 月刊東洋療法 称

代 表 者 杉田 久雄

00160-8-31031 郵便振替

りそな銀行 新宿支店 普通口座 1717115 銀行口座

名義/公益社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会

発 行 人 杉田 久雄 編集人/広報局長 廣野 敏明 3,600円 〒共 (会員は会費より) 購読料

□座名のフリガナは「 シヤ)ゼンニホンシン | キユウマツサージシカイ | となります